

向精神薬がヒト脳活動状態に及ぼす影響を定量的に評価するための脳機能画像研究

2009年3月～12月に本学・薬理学分野が実施したMRI脳画像研究に参加された方へ

研究協力をお願い

当分野では「向精神薬がヒト脳活動状態に及ぼす影響を定量的に評価するための脳機能画像研究」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2009年3月より同年12月までに日本医科大学薬理学分野が実施した研究に参加された方のMRI脳画像データを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：向精神薬がヒト脳活動状態に及ぼす影響を定量的に評価するための脳機能画像研究

研究期間：2017年7月11日（倫理委員会承認日）～2020年6月30日

当大学における研究責任者：日本医科大学薬理学分野 鈴木 秀典

(2) 研究の意義、目的について

近年、MRI装置で調べられる脳活動の同期パターンを、精神疾患のバイオマーカー（疾患の有無を示す指標）として活用することについての可能性が期待されています。しかし、その有効性を確認するためには、疾患の有無とは別に、患者さんが服用されるお薬が脳活動に及ぼす影響も正確に理解する必要があります。そこで、過去に取得させていただいたデータを解析し、脳活動に対するお薬の効果と、疾患状態との関係を詳しく調べる研究を実施いたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2009年3月1日より2009年12月31日までに日本医科大学薬理学分野で実施されたMRI脳画像研究に参加された方について、以下の試料・情報を使用します。

試料：MRI脳画像データ

情報：研究参加者の基本情報（年齢、性別など個人が特定できない情報）、質問紙にご記入頂いた内容

これらの試料・情報は、国際電気通信基礎技術研究所ならびに放射線医学総合研究所へ提供されます。これらの試料・情報は、個人が一切特定できない形で匿名化され、共同研究機関が運用しているセキュリティ管理されたサーバーに収集されます。研究従事者以外は当該サーバーにアクセスすることができません。収集された試料・情報を用いて、研究グループがMRIデータの解析を行い、服薬が及ぼす脳活動状態の変化に関する検討を行います。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：国際電気通信基礎技術研究所

研究全体の責任者：国際電気通信基礎技術研究所 所長 川人 光男

その他の共同研究機関：放射線医学総合研究所

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 本学における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学薬理学分野 大学院教授 鈴木 秀典

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：5277

メールアドレス：pharmacol@nms.ac.jp